

## 第1回浦安音楽ホール検証委員会 議事録

日時 : 平成29年7月11日(火) 15時～17時

場所 : 文化会館第2練習室

出席者 : 副市長(委員長)、企画部長(副委員長)、  
総務部長、財務部長、生涯学習部長、  
企画部次長、総務部次長、財務部次長、生涯学習部次長、  
企画政策課5名、生涯学習課4名

### ■議事次第

1. 開会
2. 議題
  - 1) 音楽ホール検証委員会について
  - 2) 音楽ホール整備の経緯について
  - 3) 契約内容について
  - 4) 利用・予約状況について
  - 5) 今後のスケジュールについて
3. 閉会

### ■資料

- 資料1 浦安音楽ホール検証委員会設置要綱
- 資料2 都市拠点に関する整備の方向性検討
- 資料3 都市拠点に関する整備の方向性検討報告書
- 資料4 平成26年度第1回経営会議議事録(議事要旨)
- 資料5 「建物賃貸借契約書」条文抜粋
- 資料6 利用及び予約状況

### ■議事概要

#### 議題1 音楽ホール検証委員会について

##### ○事務局説明

資料1「浦安音楽ホール検証委員会設置要綱」に基づき、当委員会の所掌事務などを確認した。

## 議題2 音楽ホール整備の経緯について

### ○事務局説明

音楽ホール整備の経緯について、残っていた文書や当時の担当者へのヒアリングから整理した結果を説明した。

### ○質疑応答等

委員長： 当委員会の所掌事務は、音楽ホールの整備経緯について整理し、存続及び廃止について検証することとなっている。

公共施設が音楽ホール・多目的ホールと決定された経緯、賃貸借期間及び賃料が決定された経緯、指定管理者制度を導入した経緯及び指定管理料を決定した経緯など、整理・検証の項目や視点について、皆様のご意見を伺いたい。

委員： 経緯関係は、時間に沿って書いたほうが良い。

委員： きちんと経緯を抑えていかないと、検証したことにならないだろう。

委員長： こういったところが不十分だったということがあれば、整理することが必要である。

委員： 音楽ホールを造るときに、限られた時間となっていたが、費用がどれくらいかかるのかを詳細に検討していたのか、検証の内容に入れても良いのではないか。

委員： 使用料と、収入見通しについて整理が必要ではないか。

事務局： 賃料については、周辺の物件は坪単価1万円から2万円といった相場であったので、妥当だと考えたということだった。

委員： 使用料については、類似施設と比較しても良いのではないか。

委員： ネーミングライツなど、収益を上げる手法について、委員会として提案していくということは考えられると思う。

委員： 指定管理者の仕様の中で、文化会館やWave101などでは企画されないような音楽催事が企画され、頻繁に開催されるようにしているという点も検証の中で触れても良いのではないか。

委員長： いずれにせよ、事実関係を整理し、不十分だったというところも含め、経緯を振り返って妥当であったか否かの評価につなげるまとめにする。

## 議題3 契約内容について

### ○事務局説明

資料6『「建物賃貸借契約書」本文抜粋』を中心に、建物賃貸借契約書の内容を確認した。

## ○質疑応答等

委員長： 契約書の中身を整理すると、基本的には契約の解除は相当難しいと想定される。違約金も相当な額を請求される可能性があるということがあるにせよ、存続あるいは廃止した場合について比較を行う必要がある。

指定管理料の内容に対しても検証しなければならない。

音楽ホールを30年間継続することによってもたらされる効果と、必要な経費と使用料収入を差し引いた額に見合う政策的な意義があるかどうかという検証といった視点も必要だと思う。

事務局： 例えば同じ生涯学習部の施設など他の施設と比較することも考えている。

委員： 事業を継続した場合でも、今のやり方でよいのかということも検討する必要がある。あるいは、運営のグレードが高いことが良いのか。グレードが高い分、指定管理料を高く設定しているのであれば、その点をどのように検証するか。

委員： 利用された方、入場された方の感想を聞ければ良いが。

委員： 定性的に、評価すべきものを評価して、価格差に見合うだけの施策効果があるかどうか検証することが必要だと思う。

委員長： 「音楽ホールを存続あるいは廃止した場合」について比較する。検証方法については今後検討する。来場者へのアンケートなど、音楽ホールや多目的ホールについての評価についてご意見いただいていると思うので、意見をピックアップしてほしい。

## 議題4 利用・予約状況について

### ○事務局説明

資料7「利用及び予約状況」を基に、音楽ホール等の利用状況及び予約状況について報告した。

### ○質疑応答等

委員長： 利用者側から、混んでいると感じる目安となる数字はどれくらいか。新幹線は85%を超えると乗りたい新幹線の切符が取れないと聞いたことがあるが、そういった観点で、文化施設について、予約をしたいのに予約がとれないという割合がもしあれば、教えてほしい。

事務局： 「都市拠点に関する整備の方向性検討報告書」の中で、文化会館の稼働率は約70%、利用率は約80%という表を掲載して、「市民は予約が取れないと感じている」と述べている。

委員長： ホールは、実績で見ると、まだまだこれからというところか。

委員： 土日祝日は利用率が100%である。

- 委員長： 当委員会では、「音楽ホールの運営に係る課題とその対応について検証する」とあるので、利用状況が芳しくなければテコ入れをする必要があるなどと指摘ができるかと思ったが、概ね利用されている。
- 事務局： 「都市拠点に関する整備の方向性検討報告書」では、「抽選参加者の約40%が予約が取れない」と述べている。音楽ホールについて抽選に申し込んだ方の件数までは、今回まとめていないので、抽選参加者のうちどれだけ予約が取れないかという点もまとめてみたい。
- 委員： 一年位は経たないとなかなかわからない。1年目より2年目のほうが認知されていくだろうし、この時点で良い悪いは断言できない。
- 委員長： 当委員会は年内に市長へ一定の報告ができるよう実施していくので、半年間の利用状況を見て、何かしらまとめないといけない。
- 委員： コンサートホールは午前中だけ空いていてもなかなか使わないだろう。
- 委員長： その点は埋まっているコマを見て、分析をしていかなければならない。
- 委員： 指定管理者も利用率向上に向けた取り組みを行う予定だと思う。指定管理者の取り組みも確認しておく必要がある。
- 委員： 音楽の専用ホールとして開館したので、今まで文化会館で行っていた音楽の催しが音楽ホールに流れてきているなら、狙い通りということになると思う。そういった実態を抑えることで、音楽ホールとしてどれだけ機能しているのかということを確認することも必要。
- 委員長： 平成21年度に行った市民と市長の意見交換会での団体の意見に沿うような利用が、どれくらい音楽ホールであるのか。  
数字と利用の中身を整理して、当初の目的に沿った音楽専用ホールとして、あるいは多目的ホールとしての利用が行われているか、また利用者の感想を整理をする。それを踏まえた上で課題をまとめて、その課題解決のために行うべきことをまとめる。
- 委員： 利用者の口コミなどもあるだろうし、事業を進めていく中で利用率は伸びていくだろう。
- 委員長： 本日は議論の入口のところであったが、数字を整理することは必要である。数字以外の部分を、どのようなところに視点をあてて情報を整理していけば良いかということ踏まえ、事務局で整理を進めてほしい。

## 議題5 今後のスケジュールについて

### ○事務局説明

今後のスケジュール案を説明した。

○質疑応答等

委員長： 第2回の「コスト等の比較」は、賃料等の比較か。

事務局： 賃料、指定管理料、歳入関係。お金に関わる全てを考えている。

委員長： 継続した場合と廃止した場合のコストの比較ということか。

事務局： 最終的には、存廃のコスト比較に繋がるようにする。